

# カジノ……夢の舞台！

日本カジノ健康保養字界代表・精神科医師

中西昭憲



のカジノと健康をコラボレーションしたカジノに対して「君のコンセプトは大義がある」と褒めていた。たいた。

毎年のようにカジノ法案上程のニュースが流れ、やきもきしているとき、室伏先生が逝ってしまった。私の大義を見ないます……。

それから数年。私の健康カジノはさらに工夫を重ね「カジノ健康システム」の活用で健康で長生き、介護から自立へと日本の赤字国債の基礎を握るがすような大それた案へと進化していった。

満たされぬ夢に費やす金の一部をカジノ健康システムの目標に還元して、その目標に向かって知力・体力に精を出すことで、健康で長生きへと誘うシステムである。

いわゆる末病の状態の生活習慣病・口高揚感。映画の一コマのような静寂の中で聞こえてくるのは、ルーレットの転がる音。そしてコトント溜息の瞬間。

日本にカジノが出来るならこのようなカジノで偉そうにお客を持て成ることが出来たら素晴らしいと思い、室伏哲郎氏が主催する「日本カジノ学会」に連絡を取り、発足会のパーティに参加させていただいた。この席でスカイホークの写真を見せたことから、室伏先生とのカジノ行脚が始まつた。

鎌倉山でのローストビーフや鎌倉八幡宮の例祭での食事会などお会いするたびに、カジノにまつわる各国の政治家や経済界の裏話を聞かされ、「なぜ日本が立ち遅れているのかはカジノを見れば解る。そしてカジノは「オネストビジネス」(honest business)」と締めくくり、私

「カジノジャパン」の復刊おめでとうございます。いよいよカジノ解禁に向けて国が動き出しました。

昨年末、自民党政権になつてから景気が上向きになり、ようやくデフレから抜け出るのでは、と期待がかかります。

街の雰囲気も少しずつ明るさを取り戻し、人々の表情も穏やかになつてきました。まだ、景気回復とまでいかなくても、人々の気持ちがポジティブになることは経済活動にとても良い影響をもたらします。円高から円安に振れたことでこんなにも世の中の様相が変化するのです。

一昨年発生した東日本大震災で、東北の工場が稼働できなくなることによって世界各地の経済に打撃を与えてしまったことを私たちは改めて思い知らされました。つまりそれだけ私たちの日常の経済活動はグローバル経済と直結しているのです。

一方、日本企業の技術移転によって新興国も高い技術力と有能な人材を輩出するようになり、日本もさらに磨きをかけないと「日本の価値」はすぐに下がってしまう。日本は、ヒトが資源なのでこれからどんなサービスを世界に提供できるか常に考えていかねばなりません。

そのためにも世界の人たちとの交流をさらに加速させ、協調していくことが不可

## 日本型IR(Ｊ－R)を目指して

(株)電通 カジノ・観光プロジェクト部長

固部 智



欠です。ですから政府の考える成長戦略にカジノを含む統合型リゾート（IR）を盛り込む戦略は、これからの日本を発展させるためのエンジンになります。

一日導入で海外から多くの観光客を受け入れることで日本への理解が深まり、同時に日本の発信力も高められます。さらには平和社会を持続させるためには、観光産業を発展させ、世界中から人をどんどん呼び寄せて日本ファンを増やしていくことが不可欠です。

日本は世界有数の大國でありながら、訪日観光客数は伸び悩んでいます。しか

し、最近の円安効果で外国人観光客が増えたこの機会はインバウンドを伸ばす絶好のチャンスですし、一日を推進するための土壌を作り上げる時宜でもあります。ここ数年、フィリピンなど東アジアで一日の建設ラッシュが続いているが、これから東アジアにおける観光客の獲得競争が激化するでしょう。パワーダウンした首都東京のアジアでの復権とともに、豊富な観光資源に恵まれた日本の各地域に活力を取り戻すためにも一日導入で元気な日本にしたいです。

既に世界120カ国以上でカジノが営まれていますが、さて日本はどんなIRを目指すのでしょうか？ 海外のIRは各地域の実情に合わせて展開されていますが、共通していることは、IRが地元経済を支える重要なエンジンとしての役割を果たしていることです。日本もかつてのリゾート法による過剰な開発の結果、苦い経験をしました。今度こそ地元目標で、地域特性を活かした日本らしい一日を実現すべきです。